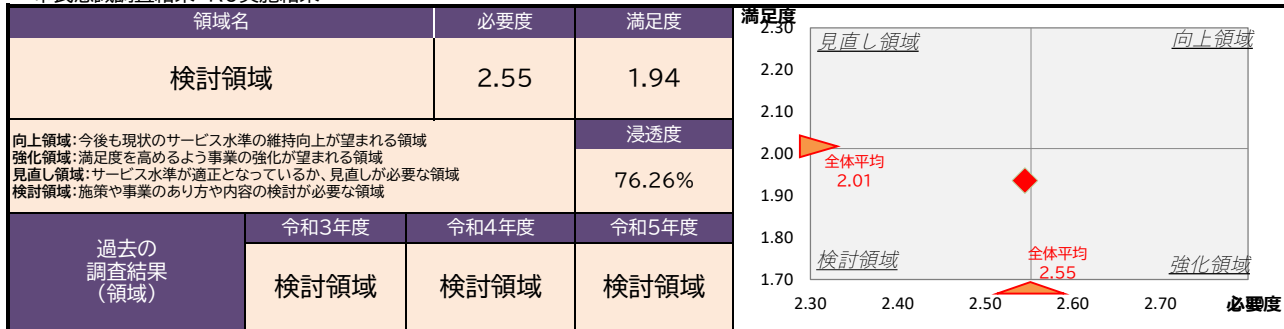


コード	IV-11-21	施策名	安定的な水産業経営の充実
まちづくりの目標	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)	施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす
5年後のめざす姿	臼杵産の魚介類が地元で消費され、市内外で知名度が向上し消費が拡大する取り組みを強化します。地元で消費する仕組みづくりや流通ルートの確立、魚価の向上などにより、安定的な漁家経営を実現するとともに新規就業者の確保をめざします。		
施策の課題	本市の水産業は、魚介類の価格低迷や、気候変動の影響などにより主要魚種であるタチウオなどの水産資源の減少、物価高騰などの影響により、厳しい状況にあります。また、漁業者の高齢化や後継者不足も顕著であり、新規漁業就業者の確保・育成が課題となっています。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次臼杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
新規就業者・漁業後継者の数【累計】	臼杵市漁業担い手交付金申請数【累計】	臼杵市漁業担い手交付金申請数【累計】	目標	人	8	8	8	8	8	8
			実績	5	7	7	7	7	7	
			達成率	%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	87.5%	
臼杵心地魚認定店の数【累計】	臼杵心地魚認定店の数	臼杵心地魚認定店の数	目標	店舗	33	34	35	36	37	
			実績	32	33	33	33	33		
			達成率	%	100.0%	97.1%	94.3%	91.7%	89.2%	
漁港機能保全計画の進捗率【累計】	漁港機能保全計画(泊ヶ内漁港)の事業費ベースによる進捗率	漁港機能保全計画(泊ヶ内漁港)の事業費ベースによる進捗率	目標	%	70.0	75.0	80.0	100.0	100.0	
			実績	57.0	68.0	79.0	89.0	100.0		
			達成率	%	97.1%	105.3%	111.3%	100.0%	100.0%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	やや遅延	指標の分析	全国的に新規就業者・漁業後継者は、少子高齢化や天候や魚価の変動に影響を受けやすく収入が不安定で、 燃油 などの物価高騰の影響、加えて漁具などの初期投資負担も障壁となっていることから、厳しい状況であり、本市においても令和2年度から増加していません。臼杵心地魚認定店の登録数は、認定店の認知度が高まっていないことや廃業店舗があることから、伸び悩んでいます。漁港機能保全計画は、令和5年度で完了しました。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>



<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項	
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度		
1	うすき海のほんまもん 漁業推進協議会事業	「臼杵ん地魚」のブランド化と魚食普及を拡大していく為の事業です。	産業観光課	4,198	2,701	無	-	-	-	
2	漁業担い手育成交付金	漁業就業者確保の為、就業奨励金の交付や定着支援金の交付を行います。	産業観光課	-	-	有	やや遅延	強化	中	
3	泊ヶ内漁港施設機能強化事業	台風等の高波の被害を防ぐために護岸、防波堤の高上げ及び消波ブロックの設置を行います。	建設課	149,388	0(事業完了)	無	-	-	-	
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計				153,586	2,701	※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。				

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 .. 現状の通り維持向上する ○ 強化.. 現状より強化を図る
 ○ 見直し .. 現状を見直し適正化を図る ○ 検討.. 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>...評価者 担当所属長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	漁協組合員の高齢化などによる組合員数の減少が進んでいる中、将来的な本市の水産業の振興を図るためには、継続して新規就業者並びに漁業後継者の確保に向けて取り組む必要があります。漁獲量の回復を図るため、県や漁協と連携し種苗放流や藻場造成、臼杵干潟のアサリ回復調査など、水産資源の保護保全事業を支援する必要があります。魚価の向上を図るため、ユネスコ食文化創造都市臼杵のブランドを活かし、「うすき海のほんまもん漁業推進協議会」事業活動による地産地消の促進などの取り組みを強化する必要があります。